

第9回東北 MIST 研究会の報告

平成 29 年 7 月 8 日(土)に仙台において第 9 回東北 MIST 研究会を開催いたしました。天候にも恵まれ、予想以上に多数ご参加をいただき盛会のもとに終了いたしましたのでご報告いたします。

一般演題は 14 題ご発表いただきました。外傷、変性疾患、感染、腫瘍、脊柱変形といずれの分野も骨のある発表が多く、討論も白熱し参加者の皆様様に心から感謝申し上げます。

特別講演 1 では、製鉄記念室蘭病院の小谷善久先生より『低侵襲前側方固定術の現状と未来—骨粗鬆脊椎におけるアドバンテージ—』という演題でご講演を賜りました。安全な LIF を行う上で必要な解剖から脊柱変形、椎体圧潰を伴った後弯症例、L5/S1DDD に対する応用などいずれも先進的で目を見張る内容でした。今後は、コンピューター支援との組み合わせが増々重要になることも実感させていただきました。

特別講演 2 では、高知医療センターの時岡孝光先生より『頸椎外傷に対する MIST の新たな挑戦—MICEPS 法を超えるもの—』という演題でご講演を賜りました。脊椎外傷に対する思いから MICEPS 手技を確立されるまでのご苦勞を正直にお話され、心に響く内容でした。上位頸椎に対する応用などさらなる進化を目指されており、頸椎外傷に対する MIST の有用性を実感させていただきました。

また今回は、研究会に引き続き検討会を開催させていただきました。新潟グループによるデコボコな進行は今後の課題とさせていただきますが、最後までご参加いただいた先生方のお陰で予想以上の盛り上がりを見せました。東北 MIST 研究会世話人先生方はじめ、共催の旭化成ファーマ株式会社、協賛の各メーカーの皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

次回の第 10 回東北 MIST 研究会は平成 30 年 1 月 28 日山形済生病院の千葉克司先生のもと仙台において開催される予定です。全国の皆様にもご参加いただきますよう、今後ともよろしく願い申し上げます。

第 9 回東北 MIST 研究会
当番世話人
新潟市民病院 整形外科
澤上公彦